

(様式第 2 号)

SDGs 達成に向けた宣言書 (要件 1)

令和 6 年 12 月 1 日

所在地 南アルプス市上今諏訪 850-1
企業名 山梨県木材製品流通センター協同組合
代表者 代表理事 戸栗哲也

当社は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を下記のとおり宣言します。

記

SDGs 達成に向けた経営方針等

地域材を積極的に活用することで、森林資源の循環を本来あるべき姿に近づける。また、木質バイオマス燃料である薪の活用を普及させていくことで、森林サイクルの一助を目指すとともに温室効果ガスの削減に寄与していく

3 側面 (主な分野に☑)	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	重点的な取組及び指標の進捗状況	
			登録年月日：令和 5 年 12 月 1 日	
☑環境 □社会 □経済	CO2 などの温室効果ガスの削減を目指し電力使用量を抑える	月々の電力使用量 現在：月平均使用電力量 24,772KWh ⇒2030 年：現況値から 20%削減	電灯設備の LED 化などにより対前年度比 8.18%削減できた。 指標の現状値： 月平均電力使用量 22,746KWh	(進捗率) 40%
☑環境 □社会 ☑経済	地域材を積極的に活用することで森林資源の循環に寄与していく	製品への県産材の利用割合 現在：年間 458 m ³ ⇒2030 年：現況値から 10%増加	県産材の普及のため工務店などに利用の推進をしている。利用割合は 0.5 ポイント上昇した。 指標の現状値：木材の全出荷量は 3858 m ³ 、このうち県産材は 420 m ³ で割合は 10.8%である。	(進捗率) 0.8%
□環境 ☑社会 □経済	木材に係る教育の機会を積極的に提供していく	インターンシップの受け入れ 現在：年間 4 名 ⇒2030 年：現況値から 20%増加	県内の教育機関等に周知し、受け入れ態勢を常に整えている。 指標の現状値：5 名	(進捗率) 25%

2030 年の目指す姿

災害に強い森づくりを目指し、森林の収穫・植林・間伐・保育そして再び収穫という森林循環を健全な姿に近づけることを心がけていく。豊かな森づくりは山地の土砂崩壊を抑え、また、清流を作り出すことにも通じる。県産材の積極的な活用により森林サイクルの再構築を常に念頭におき業務に臨む。

